

海洋深層水研究所のあり方検討会 全体の流れ（案）

1 検討会の ミッション

研究所の「取水・分水機能」と「研究機能」についての、今後の中長期的なあり方を明らかにすること。具体的には、両機能について縮小・維持・拡大のいずれに向けて進んでいくか、その方向性における最適な5W1Hを検討する。⇒「基本構想」としてとりまとめる

2 検討会の進め方

検討段階

各段階の想定アウトプット

R5

・県取水管閉塞状況調査（7月～8月）

県取水管内部の詰まり具合を水圧から把握
→県取水管の今後の使用可能期間の想定

ステップ1

▶**海洋深層水研究所のあり方検討会**
(外部有識者会議)

【R5年度下半期】・方向性の検討に必要な調査があればR6当初予算へ計上

【R6年度夏～秋】・中間報告①の作成

大きい方向性（現状維持・拡大・廃止）、
→基本構想作成を委託するための仕様の整理

R6

【R6年度下半期】ステップ2に要する経費（委託経費等）をR7当初予算へ計上

【R7年度秋】
・中間報告②の作成

ステップ2

▶【R7】委託
施設・整備の**基本構想**と概算費用の算定
→取水管敷設等を施行可能な事業者または知見のあるコンサルタントに委託実施

→取水施設・研究施設の機能・規模・概算費用・整備に要する期間etcを整理・作成

R7

【R7年度末】「高知県海洋深層水研究所の今後のあり方 基本構想」の決定

調整

基本構想の内容想定 ※委託結果を盛り込んだ内容で作成

① 現状分析	①-1 県研究所の施設や機能の現状のまとめ ①-2 本県における海洋深層水の活用状況	→更新の切迫度の判断材料 →縮小・維持・拡大の判断材料①
② 検討に要する情報	②-1 大地震（特に南海トラフ地震）発生時における取水施設への影響想定 ②-2 今後の海洋深層水産業の方向性の想定	→縮小・維持・拡大の判断材料②
③ 今後のあり方	③-1 取水・分水機能のあり方 ③-2 研究機能のあり方	→5W1H →5W1H
④ あり方諸要素	④-1 規模・概算費用額等の想定 ④-2 今後の中長期スケジュールの想定	

R8以降

ステップ3

▶**基本構想の具体化**→基本設計・実施設計

整備等

R5年度のスケジュール案

①第1回 あり方検討会 開催日時：R5.8.31（木）

本日の会議

- ・本県の海洋深層水振興や研究所の現状の共有
- ・検討会の全体の流れの確認

②第1回検討会后（事務局作業）

- ・R6に委託調査が必要な事項の予算化作業（～R6.2月）
- ・会でのご意見を踏まえて論点の整理

③第2回 あり方検討会

11～12月で調整

- ・情報共有（取水管閉塞状況調査結果等）
- ・論点について協議

④第2回検討会后（事務局作業）

- ・論点についての情報収集・整理

⑤第3回 あり方検討会

R6.2～3月で調整

- ・論点について協議
- ・R6年度の進め方について協議

できればどちらかを室戸市内で開催

R6年度へ